



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーに輝きを”

RI会長
ゲイリー C.K.ホアン
2570地区ガバナー
坂本元彦

「行動，ACTION」

第2633例会 2015. 2. 4

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 51-32)

会長 山川 莊太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 森君、本橋君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 山川会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 田辺職業奉仕委員長
- ・米山記念奨学生 ホアン・フォン・チーさん
- ・卓話 神田康夫会員 吉島一良会員

【会長報告】

理事会で3月プログラム承認。3/14 IM、11(水)休会。半期決算は適正。2/21飯高チアダンス部激励会、強制でなく会費をお願いしたいとの事。ダラスでのチャンピオンシップ。1918年1月、目賀田種太郎男爵を団長とした政府の財政調査団に加わり渡米していた米山梅吉氏はダラスRC会員だった福島喜三次氏に会い、初めてRCの例会に出席し大いに感動。1920(大正9)年1月、福島氏が帰国、在日米国人の実業家ウォルター・ジョンストン氏の応援を得て具体的な作業が進められ、10月20日「東京RC」設立総会が三井銀行ホールで開催。翌1921(大正10)年4月に承認、国際ロータリーに加盟。会長米山梅吉、幹事福島喜三次、チャーターメンバー24名で日本初のロータリーが出發。その時の会員の条件は「東京の財界の一流人である事」「英語が話せる事」。例会出席状況は芳しくなかった。1923年9月1日、関東大震災が起り世界503RCより物資を合わせて89800ドル(3200万円)の義援金を受ける。「かけそば7銭」の時代。奉仕の喜びを経験した会員は改めてRCの力を認識。活力を得て例会は月1回から毎週水曜開催に。横浜等、倒壊した小学校等の援助をして名声を上げたとの事です。奨学金を贈呈。

◎チーさん：ベトナムの旧正月「テト」で1か月間帰国します。テトは1週間程の休み。短いですが一番楽しい時間。理由は、テトの準備に心が弾む

から。買い物をたくさんしたり掃除したり、おせちを作ったり、大変ですが新年を待っていてワクワクします。2番目の理由は、テトが家族の集まりの時間だから。1年間忙しくあまり会えなくなったので、家族、近親者全員が集まってごはんを食べてしゃべってます。それがテトの習慣。最後の理由はテトのお蔭でさっぱりすること。3日の後の4連休は自宅でのんびり、心の緊張がほぐれます。前年の良くない事を忘れ、良い一年を迎えます。ベトナム人にとってテトは一番大事な時間。家族の集まりの時間で自分の時間もある。私はテトが大好き。今回はすごく楽しみにしています。

【幹事報告】

5/16・17親睦旅行は職奉、親睦合同で実施。
2/18市川(洋)様より退会のご挨拶を頂きます。

【委員会報告】

◎50周年に関して

細田(吉)君

夫人宛の封筒に返信はがきが入っていませんが出席数を早目に知りたいと思います。返信はがきをお忘れになった方が居ます。

◎飯能高等学校チアダンス部

木川君、矢島(巖)君、細田(吉)君

全国1位。女子高から90年、私と木川君が卒業して63年。こんなに誇り高いことはない。飯能の皆で盛り上げたい。全員より1万円ずつ、ライオンズも全員です、ご寄付頂きたい。400万円位かかる。県立なのでお金を集めるわけにはいかず会議所が集金、事務局。2/21激励会、来られる方は是非。

◎会葬の御礼

伊澤君

亡き母の葬儀、ご会葬有難うございました。初めての喪主、突然の事で困惑しましたが、温かい励ましを頂き無事葬儀を執り行うことが出来ました。

【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
58名	6名	53名	91.38%	87.93%

【M U】

2/3 (日高) 山川君、高橋君、田辺君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・お見舞い有難うございました。一日も早くロータリーに出席出来るように療養に努めております。 山岸君
- ・神田様、吉島様、本日はよろしくお願ひします。 間邊君
- ・遅刻 細田(伴)君
- ・早退 森君、本橋君

本日計10,000円、累計額770,614円。

◎18日例会当番は松下、前久保会員です。

【卓 話】

知っておきたい定款・細則

パスト会長 神田康夫会員 吉島一良会員



吉島会員 RCの新ロゴはゴールド1色に。掲示の旗も新しくしたい。「定款」組織・活動を定めた根本原則またはこれを記載した書面。1922年以降RIに加盟したクラブは標準定款を採用しなければならない。

東京RCは独自でも構わないのかもしれない。「細則」定款を補足。RIのそれらと矛盾しなければ変更可。第3条所在地「飯能市」は「飯能市および周辺地域を含む」との解釈。所沢では細かく区分が記載。第4条目的「意義ある事業の基礎として〇〇の理念を奨励し、これを育むことにより」[知り合いを広めることにより〇〇の機会とすること]…前久保会員「(〇〇)奉仕」…正解です。第5条五大奉仕部門、1) 新井会員「クラブ奉仕」…担当ですね。2) 田辺会員「職業奉仕」、3) 社会奉仕、4) 国際奉仕、5) 青少年奉仕。第7条会員身分、奉仕およびRCの目的への献身を示した地域社会のリーダーであるという条件を満たせば職業を持っていなくても入れる。子どもの世話または配偶者の仕事の手伝いのために仕事を中断した人または同じ理由で生まれてからこの方、仕事をされたことのない人も入れる。第8条職業分類、現況が変われば当初の分類にこだわらず修正。制限60名(定款「51名」)以上の会員のクラブであれば同一職業分類から6名を入会させても10%より多くならない。第9条出席、例会時間の60%。MUは前後2週間以内。理事会承認の奉仕プロジェクト(親睦ゴルフ等)、選任された奉仕委員会の活動への出席でも可。出席既定の免除、75歳で入会、85歳で免除。第10条理事会による最終決定を覆すにはクラブに対し提訴する以外無い。理事の方は理事会の意義をよく理解し出席して頂きたい。第15条ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守「義務」は、定款・細則順守、入会金会費納入、例会出席、新会員の推薦、委員会活動その他行事への参加、『友』購読。『三大義務』会費、例会、『友』購読。『特典』本人が希望しても会員になれない。RC会員に推薦されて初めて会員となれる。全世界の品性高潔な122万の友人となれる。全世界のRCの会合に参加出来る。奉仕活動に参加出来る。ロータリアンとして絶大な信用を得る。ロータリアンとして適格な人を推薦することが出来る。

神田(康)会員 昨年山形でガバナーをした古くからの友人と正月に会い、「ガバナーご苦労さんでした」と言った時、その男が「神田さん、RCの組織はすごいね」とまづ言った



ので、「何故?」と聞くと、「RIを頂点に地区、クラブ、122万人の会員の情報、連絡事項が素早く届く組織というのは考えられない」ということだった。1人が1ドル寄付すると1億円が直ちに集まる。正に「数は力なり」という組織。RIを分からずして飯能RCは存在しない。本部は米国イリノイ州エバンストンにあり、唯一吉田(健)会員がシカゴ国際大会の時に訪れたとの事。便宜上、RIは536地区を設け、役員として「ガバナー」を置き、その職務をさせている。素早くクラブ、会員に伝達するための「中間役」。ガバナーはRIの役員で地区は独立した組織として認めていない。唯一独立した組織と認められているのが「クラブ」である。もう1つ混同してはならないのは、JCでは「日本JC」が指令を出し、それが中心ということが頭に浮かぶが、「日本RC」という組織は無く「日本の会長」も居ない。それを混同している人がいる。「米山」の存在が混同に輪をかけている。

RI定款第13条「クラブの会員はロータリアンとして認められ、RIのバッジを着用する権利を与えられるものとする」。バッジは「国際ロータリーの会員です」ということであって「飯能RCの」ということではない。「RI」のバッジを着けているから世界何処のクラブでも行くことが出来、同じ会員同志であり、日本であっても仲間と言うことが出来る。感心する程、実によく出来た定款・細則である。「会員組織」(飯能)RCはその会員であるロータリアンによって構成されている。一方、RIはRCによって構成される。RIが統制しているのはクラブ。「全ての加盟クラブは標準クラブ定款を採択しなければならない」。吉島会員が説明したのは飯能で作った規則でもなんでもない。RIが定めた定款を採択し、それに従ってクラブを運営している。200か国以上の34,558クラブが全て同じ定款。実にうまく作ったものだと思う。役員は1年に1回変わる。『手続要覧』を見ると、誰がなっても出来るようマニュアル的になっていて面白い。紹介の順序、席次まで記載されている。「ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、パストガバナー」「会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督、その他の理事、委員会委員長、ロータリアン」。細かい事まで決めてあるというのがRCの規則の面白いところ。その、よく出来ている規則がどういうふうになるのか。「規定審議会」がRCの立法機関を成し、3年に1回、4月に招集される。最近では2001、04、07、10、13年。来年また改正。審議される議案は500に上り、多数決は押しボタン式。ただしRI定款の改正等は3分の2の賛成が必要。世界で規則を決めていくのであって、日本のRCが全部集まっても1割に満たない。「日本はこう思う」と言っても到底勝てない。ある面で「日本の常識は世界の常識ではない」という事も知っていないといけない。例えば、日本のRCはステイタス、社会的地位や身分を言うが、世界はそういうふうにはなっていないのかもしれない。「サラリーマンでも入れるRCを目指す」という事が多数決で決まっていく。芭蕉の言葉の引用で「不易流行」という言葉があるが、ロータリーの規則は3年毎に目まぐるしく変わっていく。会長、幹事もそれに追いつかないのが現状だと思う。ロータリーの規則ほど大変なものはないと思っております。

平成27年3月のプログラム (月間テーマ 識字率向上月間)

月 日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
3. 4	2,637	卓話「駿河台大学留学生による日本語スピーチ」駿大留学生	中山君 大木君 [国際奉仕]
3.11	2,638	例会取消 IM振替日	
3.18	2,639	創立50周年 記念式典最終打ち合わせ 50周年実行委員会 中里昌平委員長	大附君 大野君 [プログラム]
3.25	2,640	日高RCとの合同夜間例会 点鐘 18時	大崎君 齋藤君 [親睦活動]

※次週の例会案内は省略。